

Europe Indicators

発表日: 2020年11月24日(火)

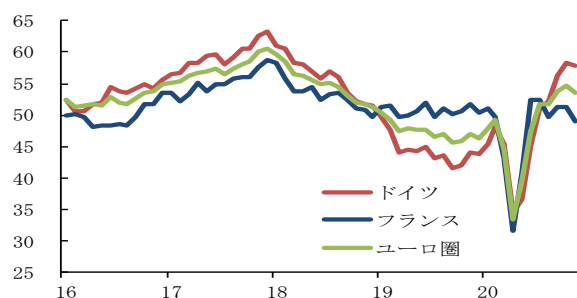
欧州経済指標コメント: 11月ユーロ圏PMI速報

～第二波の経済打撃は第一波と比べて限定的～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

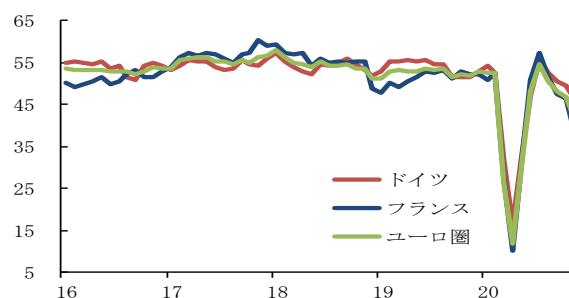
- 23日に発表された11月のユーロ圏の総合PMIの速報値は45.1と5ヵ月振りに業況判断の分岐点(50)を下回った(速報段階で50を下回った10月値は確報で50.0に上方修正)。総合PMIを構成する2項目の内訳は、製造業の産出指数(製造業PMIの構成項目の1つ)が前月: 58.4→今月: 55.5に改善モメンタムが鈍化し、サービス業活動指数(サービス業PMI)が前月: 46.9→今月: 41.3と悪化モメンタムが加速した。これは感染第二波に伴う欧州各国での都市封鎖の再開を反映したもの。ただ、春の第一波の時は2項目が何れも10台にまで急落したのと比較して、製造業・サービス業ともに落ち込みは軽微にとどまっている。
- 国別・業種別にはサービス業の業況悪化が顕著で、ドイツが49.5→46.2に、フランスが46.5→38.0に各々悪化モメンタムが加速した。都市封鎖の度合いが厳格なフランスの落ち込みが大きい。第一波と異なり、中国景気が持ち直し傾向にあるうえ、工場の操業停止につながるケースは少なく、製造業の業況悪化はドイツ・フランスともに今のところ軽微。ドイツで製造業の改善モメンタムが鈍化に転じ、フランスでは3ヶ月振りに50未満に転落した。
- 都市封鎖の再開でサービス業を中心とした業況悪化は想定通り。春に比べて都市封鎖の度合いが限定的で、海外需要も持ち直し傾向にある。ワクチン開発への期待も業況下支えに寄与している。各国の感染者はピークアウト傾向にあり、12月以降も一定の行動制限を続ける方針だが、都市封鎖を一段と強化する国は少ない。経済活動への打撃は春に比べて限定的なものにとどまろう。

■ユーロ圏：製造業PMI



出所: IHS Markit

■ユーロ圏：サービス業PMI



出所: IHS Markit

■購買担当者指数 (PMI、季節調整済み)

	2019				2020										
	4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
ユーロ圏 総合産出指数	50.7	44.2	31.3	52.4	51.6	29.7	13.6	31.9	48.5	54.9	51.9	50.4	50.0	45.1	
ユーロ圏 製造業購買担当者指数	46.4	47.2	40.1	52.4	49.2	44.5	33.4	39.4	47.4	51.8	51.7	53.7	54.8	53.6	
ユーロ圏 サービス業業況指数	52.3	43.9	30.3	51.1	52.6	26.4	12.0	30.5	48.3	54.7	50.5	48.0	46.9	41.3	
ドイツ 総合産出指数	49.5	45.6	32.3	54.8	50.7	35.0	17.4	32.3	47.0	55.3	54.4	54.7	55.0	52.0	
ドイツ 製造業購買担当者指数	43.3	46.2	38.8	53.2	48.0	45.4	34.5	36.6	45.2	51.0	52.2	56.4	58.2	57.9	
ドイツ サービス業業況指数	52.1	46.1	32.0	52.9	52.5	31.7	16.2	32.6	47.3	55.6	52.5	50.6	49.5	46.2	
フランス 総合産出指数	52.2	44.0	31.6	52.5	52.0	28.9	11.1	32.1	51.7	57.3	51.6	48.5	47.5	39.9	
フランス 製造業購買担当者指数	50.9	48.0	41.5	51.1	49.8	43.2	31.5	40.6	52.3	52.4	49.8	51.2	51.3	49.1	
フランス サービス業業況指数	52.5	43.6	30.7	52.1	52.5	27.4	10.2	31.1	50.7	57.3	51.5	47.5	46.5	38.0	

出所: IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。